

EUSI メールマガジン Vol. 024
「日・EU フレンドシップウィーク Vol.2」

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【日・EU フレンドシップウィーク Vol.2】

EUSIでは一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学にて、日・EU フレンドシップウィークに、様々な展示と公開講座を行います。
今号では、津田塾大学での取り組みをご紹介します。

1. 津田塾大学・パネル展示

「日本のヨーロッパ発見 1872年～73年に岩倉使節団が見聞したヨーロッパの多様性と統一性」

日時: 2013年5月7日(火) - 6月7日(金) 9:30-16:30 ※土日を除く
場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館 1階ラウンジ
協力: オーストリア大使館

岩倉使節団は、特命全権大使岩倉具視以下、新政府の要人からなる公式使節団として、1871～73年にアメリカ合衆国とヨーロッパ各国を訪問しました。
今回のパネル展では、北欧からイタリアまで12ヶ国を歴訪した施設団の行程や時代背景を示す、貴重な写真や図版が展示されます。

2. 津田塾大学・公開講座「社会的ヨーロッパの隘路と可能性」

日時: 2013年6月2日(日) 13:00-17:00
場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館 7101教室
司会: 網谷龍介 (津田塾大学学芸学部教授)

報告者:

- ・田中拓道 (一橋大学社会学部准教授)
「社会的ヨーロッパのゆくえ」
 - ・水島治郎 (千葉大学法経学部教授)
「オランダモデルとヨーロッパ現代政治の変容 反転する福祉国家」
- 討論者: 近藤康史 (筑波大学人文社会系准教授)

グローバル化の中でヨーロッパ的な社会保障制度はどう変わっているのか、そして維持可能なのか、ヨーロッパにおける福祉国家システムの現状と課題を探ります。

【EUSI イベントご案内】

- 1. EUSI 政治プロジェクト パネルディスカッション**
『「統合の終焉」をめぐるラウンドテーブル』

日時: 2013年5月22日(水) 18:00-20:00
場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 8F ホール
申込・登録: 不要・参加自由
<http://eusi-politics.tumblr.com/post/49999883065/2013-5-22>

パネリスト

- ・遠藤乾 (北海道大学大学院法学研究科・公共政策大学院教授)
- ・田所昌幸 (慶應義塾大学法学部教授)
- ・小川有美 (立教大学法学部教授)
- ・網谷龍介 (津田塾大学学芸学部教授)(※兼司会)

(遠藤乾『統合の終焉 EUの実像と論理』(岩波書店、2013年4月23日刊行))
<http://www.iwanami.co.jp/cgi-bin/isearch?isbn=ISBN978-4-00-025899-9>

2. EUSI 政治プロジェクト研究会

「EMS(欧州通貨制度)の成立とユーロ危機に対する省察」

日時: 2013年5月30日(木) 17:00-19:00
場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎 1F・411 教室
使用言語: 英語(通訳なし)
申込・登録: 不要・参加自由
<http://eusi-politics.tumblr.com/post/49243063944/ems-2013-5-30>

報告: Emmanuel Murlon-Druol (University of Glasgow)
討論: 池本大輔 (明治学院大学法学部准教授)
司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授)

(Emmanuel Murlon-Druol,
A Europe Made of Money: The Emergence of the European Monetary System
(Ithaca, NY: Cornell University Press, 2012))
<http://www.cornellpress.cornell.edu/book/?GCOI=80140100879390>

3. 日・EU フレンドシップウィーク: 慶應義塾大学・パネル展示

「EUと世界遺産」

日時: 2013年5月7日(火) - 5月25日(土)
会場: 慶應義塾大学三田メディアセンター
<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/eu/friendship.html>

4. 日・EU フレンドシップウィーク: 一橋大学・パネル展示

「Drago mi je (はじめまして)! 2013年加入国 クロアチア紹介」

日時: 2013年5月13日(月) - 6月7日(金) ※土日を除く
会場: 一橋大学附属図書館公開展示室
<http://www.lib.hit-u.ac.jp/pr/tenji/>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

林秀毅 (EUSI 主任研究員・日本経済研究センター特任研究員)

「ECB の利下げとイタリア政治情勢の影響度 金利低下・ユーロ下落圧力一段と」
『欧州経済・金融レポート』(日本経済研究センター)(2013年5月10日)
<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi2/index482.html>

【EUに関するニュース】

- 2013年4月15-19日 日・EU EPA 第1回公式交渉、ブリュッセルで開催。貿易・投資・非関税措置・政府調達を協議
- 2013年4月16日 ドラギ ECB 総裁、ECB 年次報告に関する欧州議会審議でユーロ経済は今年後半に段階的回復と予測
- 2013年4月16日 欧州委員会、気候変動適応に関する EU 戦略と天災・人災の保険に関するグリーンペーパー採択
- 2013年4月17日 欧州自動車工業会(ACEA)、3月新車販売台数は前年同月比-10.2%。前年比マイナス18カ月連続
- 2013年4月17-18日 EU、ATLAS ネットワークの一環で、加盟国警察の対テロ合同危機対応シミュレーション実施
- 2013年4月18日 EU 非公式通商理事会、EU・米通商投資連携協定交渉開始の合意に前進。6月末を最終合意期限に
- 2013年4月19日 セルビアとコソボ、関係正常化合意。EU、対話枠組仲介。ファン＝ロンパイ議長、祝意を表明
- 2013年4月19・22日 日・EU 政治協定第1回交渉、東京で開催。同協定の構造や内容の基本的考え方について協議
- 2013年4月20日 ナポリターノ伊大統領第2期就任。ファン＝ロンパイ議長、祝意の声明
- 2013年4月20日 アシュトン EU 上級代表、前日の台湾での6件の死刑執行に対して非難声明
- 2013年4月21日 アシュトン EU 上級代表、中央アフリカの反政府クーデターによる統治・治安状況に懸念を表明
- 2013年4月22日 EU 理事会、シリア反政府勢力及び市民の支援のため、石油禁輸を含む対シリア制裁を一部緩和へ
- 2013年4月22日 EU 外相理事会、ミャンマーの民主化プロセスを評価。武器禁輸措置を除く全ての制裁を解除
- 2013年4月22日 Eurostat、2012年財政統計。仏財政赤字は対GDP比4.8%、スペイン10.6%。EUの定める基準は3%
- 2013年4月22日 レーン副委員長、日本の金融緩和を一定評価。他方で日本の構造改革と財政再建の遅滞を懸念
- 2013年4月23日 駐リビア仏大使館に対してテロ攻撃。アシュトン EU 上級代表、非難声明発表
- 2013年4月23日 欧州委員会、域内の脱税への共同対策として、広範な租税ガバナンスの体制構築を発表
- 2013年4月23日 ECB、ユーロ圏17カ国中央銀行バランスシートは2兆6170億ユーロで、前週比172億ユーロ減少
- 2013年4月24日 アシュトン EU 上級代表、スイス政府によるEU市民の自由移動の数量制限維持拡大に対し遺憾表明
- 2013年4月24日 ECB、2012年年報発表。ドラギ総裁年俸は37.4万ユーロ(4800万円)で、日米の中央銀総裁の倍額
- 2013年4月25日 7月にEU加盟予定のクロアチア政府、ミツァ副首相を消費者保護担当欧州委員に指名
- 2013年4月25日 Europol、2012年EU域内で実行・計画されたテロ攻撃件数は219件で、前年比26%増と発表
- 2013年4月25日 欧州委員会、米Google社提出のネット検索・広告などの独占に対する対応策への意見公募
- 2013年4月26日 アシュトン EU 上級代表、日本国内での浜崎勝次・宮城吉英の2名の死刑執行に対し非難声明
- 2013年4月26日 欧州委員会、労働者の自由移動の権利に関する周知・苦情・差別改善などに関する提案策定
- 2013年4月26日 スペイン政府、赤字削減目標2年先送りなど盛り込んだ財政計画を承認。欧州委員会、承認歓迎

- 2013年4月26日 ECB、キプロス銀行預金は3月に18億ユーロ流出と発表。同国全体の3.9%に当たる額
2013年4月28日 レッタ新連立伊政権就任、2月下旬総選挙以降の政治空白解消へ。ファン＝ロンパイ祝意
声明
2013年4月28日 ギリシャ議会、トロイカ支援条件である公務員削減可決。年内4000人・来年まで15000人削
減
2013年4月29日 第15回日・EUビジネス・ラウンドテーブル(BRT)年次大会、仏で開催
2013年4月29日 欧州委員会、4月ユーロ圏景況感指数は88.6。前月90.1から1.5ポイント低下。2カ月連続
悪化
2013年4月29日 レッタ伊新首相、所信表明演説。緊縮一辺倒ではなく成長政策にも軸足と表明。加盟国訪
問へ
2013年4月29-5月3日 松山外務副大臣、仏・リトアニア・デンマーク・フィンランド訪問。日・EU関係など協議
2013年4月30日 欧州人権裁判所、ティモシェンコ元ウクライナ首相の収監に違法判決。アシュトンら共同声明
2013年4月30日 Eurostat、失業率統計発表。3月ユーロ圏17カ国で12.1%、前月比微増で過去最高更新
2013年4月30日 キプロス議会、EU及びIMFによる100億ユーロ支援策を、賛成29・反対27の僅差で承認
2013年4月30日 アシュトン EU上級代表ら、バングラディッシュ国内の労働基準改善や、ビル崩壊に遺憾の
声明

【編集後記】

5月9日は「ヨーロッパ・デー」でした。1950年のこの日、欧州の石炭・鉄鋼を
各国ごとではなく、欧州全体で共同管理を行うという「シューマン宣言」が
提案されました。

一挙に政治統合へ突き進むのではなく、先ず経済統合を進め、統合の利益を
確認しあう「現実路線」を歩み始めた記念すべき日となりました。その後、
欧州の経済統合は、関税同盟、市場統合、通貨統合、ユーロ危機という紆余
曲折を経て現在に至っています。

この日、東京のEU代表部では、この日を祝う盛大な式典が開催されました。
日本に生きる私たちは、欧州統合の歩みについて、欧州に平和をもたらした
歴史的な意義を認めると同時に、政治的に不安定な状況が続くアジアでどの
ように生かすべきかを真剣に考えるべきでしょう。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

昨日ヨーロッパ・デーより、米国ボルチモアでは北米EU学会(EUSA)の研究大会
が開催されています。

プログラムを見ると実に130もの分科会が開かれ、150以上もの大学・研究機関
から500名近い報告者が研究報告を行うという、世界でも最も大きなEU研究の
研究大会のひとつです。テーマも、政治や経済、社会、法、歴史、民主主義、
アイデンティティ、規範、ガバナンス、EUと加盟国の関係、EU研究に関する教育
など多岐にわたるものでした(興味深いところでは「EU域内でのワイン規制」
というテーマで独立した分科会ができていました)

学会での研究報告は、ある種の研究潮流を表すものですが、前号の編集後記で
述べた日本におけるEU研究の発展と可能性の問題にとっても、改めて思い起こ
すべき点があるように感じました。

先日のEUSI政治プロジェクト研究会でも、世界的な研究関心と日本国内で求め
られる知的需要の間にはある種のギャップがあるとの問題提起がなされました。
またEUという研究対象が持つ研究上の価値や位置付けの点で、独特の難しさや
相対的低下などがあり、結果としてこれらの乖離を生んでしまい、学問的な
行き詰まりを見せるのではないかという警鐘が出されました。
それらを解決するような新たなアプローチをどう模索してゆくか、プログラム

を眺めいくつか示唆に富んだ重要な手掛かりが隠されているように感じました。
EUSI 政治プロジェクトは、5月に遠藤乾、エマニュエル・ムーロン＝デュロール
(Emmanuel Mourlon-Druol)という今後のEUを捉える上で欠かすことのできない
重要な研究を行っている両先生を招いて講演会を行います。
ぜひ足を運んでいただければ幸いです。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
